

◆◆◆ がいこくのおはなし ◆◆◆

低学年向き

本のなまえ	書いたひと	出版社	請求記号
番ねずみのヤカちゃん	リチャード・ウィルバー／さく	福音館書店	933/ウ/
とても大きな声のねずみのヤカちゃん。おかあさんからは、人間にみつからないようにしずかにしなさいといわれるけれど、しずかにできない。ある日、ヤカちゃんのいえにどろぼうがやってきて、さあたいへん!			
なんでもふたつさん	M.S.クラッチ／ぶん	大日本図書	933/ウ/
なんでもふたつさんは、しごとだって、いえだって、ふたつもっています。なやみは、むすこのピーターがふたごではないこと。ある日、ピーターがふたりになった!?			
がんばれヘラクレス	ハーディー・グラマトキー／さく	学研	933/グ/
しょうぼうじどうしゃがうまれるまえのおはなし。しょうぼうポンプのヘラクレスは、3びきの馬にひかれて、かじのばしょまではしっていました。ところが、じどうしゃがはつめいされると、ヘラクレスたちのしごとはなくなってしまい…。			
王さまのアイスクリーム	フランセス・ステリット／ぶん	大日本図書	933/入/
せかいではじめてのアイスクリームをたべたのは、王さまでした。せかいではじめてのアイスクリームは、どんなひとたちが、どんなふうにしてつくったのでしょうか?			
かえってきたさけ	フレッド・フレガー／文	文化出版局	933/フ/
川でうまれたさけのこどもは、海へでて大きくそだちます。そして、たまごを生むときがきたら、ふるさとの川にかえってくるのです。水のながれにさからい、カづよくおよぎます。			
なんでももってるく?男の子	イアン・ホワイブラウ／作	徳間書店	933/ホ/
お金もちのいえの男の子フライは、なんでももっています。じぶんのもっているおもちゃをしまんするために、ふつうのいえの子ビリーをつれてきました。だけど、ビリーのかかっている犬のビュンビュンがどうしてもほしくなってしまうフライ。			
あめあめふれふれもっとふれ	シャーリー・モーガン／文	のら書店	933/モ/
ふりつづくあめのせいで、外にだしてもらえないこどもたち。もし外にでられたら、あめにぬれながらおもいっきりはしったり、水たまりの中をばしゃばしゃあるいてりしてみたいとおもっていると…。			
木いちごの王さま	サカリアス・トペリウス／原作	集英社	949/ト/
木いちごをつむために森へやってきたアイナとテッサは迷子になってしまいました。夜になり、おなかもすいてこまっている、ふしぎなことがおこりました。			
まるごとごくり!	シンシア・ジェイムソン／再話	大日本図書	983/ジ/
子どものいないおじいさんとおばあさんは、男の子の土ぐうを作り、じぶんたちの子どもにしました。男の子はとてもおなかがすいていたので、パンだけではたりません。男の子は、なにをたべたのでしょうか?			
うさぎ小学校	アルベルト・ジクストゥス／文 フリッツ・コッホ=ゴータ／絵	徳間書店	E/ウ/
あさ、キャベツのはんかちではなをかんだら、うさぎのこどもたちは小学校へでかけます。1じかんめは、しょくぶつのおべんきょう。2じかんめは、どうぶつのおべんきょう。こうちょうせんせいから、こわいきつねのことをならいました。			
9番地のチャールズのおはなし	ジョン・ハセット／さく アン・ハセット／さく	BL出版	E/キ/
子犬のチャールズは、かいぬしのおくさんに、すてきなふくや、ぜいたくなおもちゃをそろえてもらっています。でも、いつもごきげんななめ。あるばん、いえをぬけだしたチャールズは、すてきなともだちとであいました。			
せかいのはてってどこですか?	アルビン・トゥレツェルト／さく ロジャー・デュボアザン／え	童話館出版	E/セ/
いどのなかにすんでいたかえるは、はじめて、そとへでてみました。たくさんのいきものたちがいて、おどろくことばかり。いどのなかがだいすきたっだけれど、そとのせかいもすきになってきたかえる。			
大砲のなかのアヒル	ジョイ・コウレイ／文 ロビン・ベルトン／絵	平和のアトリエ	E/タ/
戦争のじゅんびをしていたら、大砲のなかにアヒルが巣をつくり、たまごをあたためていました。しかたがないので、たまごがかえってヒナになるのをまつことにしたのですが…。			
どうぶつがすき	パトリック・マクドネル／さく	あすなる書房	E/ト/
ジェーンのとこだちは、チンパンジーのぬいぐるみのジュビリー。ジュビリーをつれて、どうぶつや、むしや、はなのかんさつをするのがだいすきでした。ジェーンのゆめは、どうぶつとなかよくなって、こまっているどうぶつがいたらたすけてあげること。			
はなのすきなうし	マンロー・リーフ／おはなし ロバート・ローソン／え	岩波書店	E/ハ/
うしのふえるじなんどは、とうぎゅうじょうにつれてこられてしまいました。あばれたり、たたかたりするのがきらいなふえるじなんどは、どうなってしまうのでしょうか?			

◇◇◇ にほんのおはなし ◇◇◇

低学年向き

本の名前	書いた人	出版社	請求記号
うみのとしゃかん	葦原 かも／作	講談社	913/P/
うみのなかのとしゃかんには、サメや、タコや、マンボウがやってきます。みんながたのしく本をよめるようにおせわをしているのはヒラメです。おきやくさんにピッタリの本をだしてくれます。			
みてても、いい?	磯 みゆき／作	ポプラ社	913/I/
ひとりで、じゆうに、たのしくらしていたきつね。あるひ、きつねのあとをうさぎがついてきて「みてても、いい?」といいました。うさぎがそばにいたことが、だんだんうれしくなってきたきつねでしたが…。			
すずちゃんと魔女のババ	柏葉 幸子／作	講談社	913/加/
すずちゃんのイヌのぬいぐるみのフムが、さらわれてしまいました。はんにんは、木の上のいえにすむ、まじよのおばあさん。フムをとりもどすために、すずちゃんは、まじよとなにかのしょうぶをして、かたなければいけなくなりました。			
いぬうえくんがやってきた	きたやま ようこ／作	あかね書房	913/キ/1
いぬうえくんといっしょにくらすことにした、くまざわくん。だけど、いぬうえくんは、いつもロウるさい。がまんできなくなつたくまざわくんは、「でていってよ」といってしまいました。			
やっとなら	きむら ゆういち／作	小学館	913/キ/
ビクビク森のライオンは、とてもよわ虫。だけど、いえのそとでは、みんなをガツカリさせないように、つよいライオンのふりをしています。でも、おぼけをみてしまったライオンはびっくりしすぎて、たてがみがぜんぶぬけてしまい大ピンチ!			
コアラゆびん	斎藤 洋／作	理論社	913/サ/
ゆびんやさんをはじめたコアラのコア。ポストにはいつかたてがみには、【ともだちへ】とかいてありました。だれにとどけたらいいのかわからずに、こまってしまうコア。てがみは、ちゃんととどくのでしょうか?			
おぼえていろよおきな木	佐野 洋子／作	講談社	913/サ/
おじさんのいえのまえには、おきな木がありました。おじさんは木をじゃまだと思い、きりたおしました。すっきりしたはずなのに、なんだかさびしくなってきました…。			
ポンちゃんはお金もち	たかどの ほうこ／さく	こぐま社	913/タ/
はらっぱ公園に、いどうゆうえんちがやってきました。だけど、テストの点がわるかったコータは、へやでべんきょうするようにおかあさんにいわれてしまいました。すると、まどのそとに知らない男の子が立っていて、公園にいっしょに行くことに!?			
一年一組ミウの絵日記	吉田 純子／作	PHP研究所	913/E/
一年生になったミウは、はりきって日記をつけることにしました! ともだちたくさんできるといいな、と思っていたけれど、まわりの子たちは、みんな、ちょっとかわりもので…。すてきなともだち、できるかな?			
あかいセミ	福田 岩緒／作	文研出版	E/P/
おみせでうられていたけしゴムを、だまってポケットにいれ、いえにもってかえってしまったいっちゃん。あそぶときも、ねむるときも、けしゴムのことが気になってしまいます。かえしたいけれど、こわくて、かえせないいっちゃん…。			
きつねのおきやくさま	あまん きみこ／ぶん 二俣 英五郎／え	サンリード	E/キ/
きつねは、ひよこにこえをかけました。いえにつれてくると、ごはんをあげました。ひよこがふとったら、がぶりとたべてやろうと思っていました。だけどひよこから「しんせつなきつね」といわれ、うれしくて、ひよこをたいせつにおもうようになり…。			
校長先生のあたま	長 新太／さく	くもん出版	E/J/
校長先生のあたまが、まいにちすこしずつとがって行って、ついに、エンピツみたいになってしまいました。みんな、びっくり! 校長先生は、ほんとうにエンピツになってしまったのでしょうか?			
少年と子だぬき	佐々木 たづ／文 杉浦 範茂／絵	ポプラ社	E/ツ/
山にすむ子だぬきは、にんげんの女の子にばけて、ぼうけんにでかけました。どんどん歩いていくと、目の前で、自転車にのった男の子のがころんでしまいました。たぬきの子は、ケガをした男の子のであてをしてあげました。			
しんでくれた	谷川 俊太郎／詩 塚本 やすし／絵	佼成出版社	E/ツ/
わたしたち、にんげんは、まいにち、いろいろなものをたべていきています。どうぶつや、さかなのいのちをいただいて、いきています。「いのち」や「いきる」ということについて、かんがえてみましょう。			
わたし	谷川 俊太郎／ぶん 長 新太／え	福音館書店	E/W/
わたしは、やまぐちみちこ、5さい。あかちゃんからみると「おねえちゃん」。おにいちゃんからみると「いもうと」。「わたし」って、ふしぎ。「わたし」って、なんだろう?			

◆◆◆ 外国のお話 ◆◆◆

中学年向き

本のなまえ	書いたひと	出版社	請求記号
ああ無情(こども世界名作童話)	ユーゴー/作	ポプラ社	908/1/28/ ゼ ヲ ヲ ヲ
まずしい家族のためにパンをぬすみ、19年間ろうやでくらしした男。ろうやを出たあとも、町のひとびとのたいどはつめたい。そんな中で出会った、ひとりの神父のやさしさと言葉が、それからの男の生き方を大きく変えた。			
花仙人	松岡 享子/文	福音館書店	923/マ/
花を愛する老人は、美しい庭をもっていた。ところが、心ない者によって庭の花はへしおられ、花びらはむしりとられてしまう。泣きながら花たちにあやまる老人の前に、美しい娘があらわれて…。			
ねこのパーキンスのおみやげ	リンダ・イェトマン/作	偕成社	933/1/
ねこのパーキンスは、目の不自由な少年デイビッドの大切な友だち。家族旅行で家をはなれている間も、デイビッドはパーキンスのことばかり考えてしまう。やっと家に帰ってみると、パーキンスが別の猫と入れかわっていた!? 本物のパーキンスはどこへ?			
世界でいちばんやかましい音	ベンジャミン・エルキン/作	こぐま社	933/I/
世界でいちばんやかましい都がガガヤに、ギャオギャオという王子さまがいた。ギャオギャオは、誕生日のお祝いに、まだ、だれもきいたことがない、世界でいちばんやかましい音を聞いてみたいと言い出した。			
金曜日がおわらない	アニー・ドルトン/作	文研出版	933/ド/
いつもイライラしているレニーは、つい、まわりの人にいじわるなんかもしてしまう。そんなレニーが、金曜日にとじこめられた! 同じ金曜日を何度もくりかえすうちに、レニーは何を考えた? 土曜日めざして、がんばるレニー!			
夏のねこ	ハワード・ノッツ/作	徳間書店	933/リ/
いえにあそびにくるねこをだいきになったベン。ずっとねこといっしょにいたいとおもっていたのに、かいぬしがいることがわかった。夏が終われば町へ帰ってしまうねこ。ベンはさびしくて。			
おひさまホテル	エーリッヒ・ハイネマン/文	徳間書店	943/ハ/
小人のトリーは野原にホテルをつくった。レストランもついていて、野原のなかまはおおよろこび。ところが、すてきなホテルのうわさをきいた、らんぼうもののテンがやってきて、ホテルはおおさわぎ。			
あたまにつまった石ころが	キャロル・オーティス・ハースト/文 ジェームズ・スティーブンソン/絵	光村教育図書	E/ア/
石を集めて調べることが大好きな男の人がいた。ポケットの中にはいつも石が入っていて、まわりの人に見せていた。ロクゼは「ところで、ほら、これを見てごらん」。科学博物館で石を見ていたら、館長に声をかけられて、博物館で働けることになった。			
アンジェロ	デビッド・マコーレイ/作	ほるぷ出版	E/ア/
アンジェロじいさんの仕事は、壁ぬり。仕事をしていたら、鳥の巣の中に弱ったハトがいるのを見つける。じゃまだと思って、ずてるつもりだったのに、家につれてかえり、やがて、大切な友だちに。			
いきているひかり	モリー・バング/作 ペニー・チザム/作	評論社	E/1/
太陽のひかりは、地球に生きるすべてのいのちをささえるエネルギー。このエネルギーは、地球をたえずめぐっている。植物が太陽のエネルギーをつかい光合成をおこなうことで、人間も生かされる。科学絵本。			
おじいちゃんのところ	ヘレン・V.グリフィス/文 ジェームズ・スティーブンソン/絵	童話館出版	E/オ/
はじめておじいちゃんの家に行ったジャネット。庭には、いじわるそうな猫や、長い顔のラバがいて、ジャネットはうんざり。だけど、おじいちゃんと星を見上げたり、魚つりをしているうちに、ジャネットの気持ちはかわっていく。			
キジのかあさん	クオン ジョンセン/文 キム セヒョン/絵	平凡社	E/キ/
山家事のなかをにげるキジの親子。火がせまってくるなか、まだとぶことのできないヒナたちをまもるために、かあさんはじぶんのつばさをひろげ、炎からヒナたちをまもった。			
こころにすむおおかみ	oba/絵 中村 光宏/文・構成	じゃこめてい出版	E/コ/あ/が/1/
インディアンのおじいさんが、まごたちをあつめて、はなしはじめた。ひとのこころのなかには、わるいおおかみと、よいおおかみがすんでいるのだと。インディアンの人々のなかでうけつがれてきた、よりよく生きるためのおはなし。			
ブライディさんのシャベル	レスリー・コナー/文 メアリー・アゼアリアン/絵	B L 出版	E/フ/
ブライディさんのくらしの中には、いつも、一本のシャベルがあった。花壇をつくったり、雪かきをしたり、石炭をくべたり。どんな時も、ブライディさんの人生を支えてくれたシャベル。			
モナ・リザをぬすんだのはだれ?	ルーシー・ナップ/文 ジル・マックエルマリー/絵	岩波書店	E/モ/
ルーヴル美術館にかざられていた『モナ・リザ』。ある夏の夜に、ぬすまれてしまった。人々の前からすがたを消した『モナ・リザ』は、どんな時間をすごしていたのか? 『モナ・リザ』の運命は?			

◇◇◇ 日本のお話 ◇◇◇

中学年向き

本の名前	書いた人	出版社	請求記号
森の地図	阿部 夏丸/文	ブロンズ新社	913/7/
森のおこうにある岩山にのぼりたいと思っていた少年カムロ。地図を手に森を歩いていると、イタチに声をかけられた。カムロには岩山にのぼる資格がないと言うイタチ。それでもカムロが先へ進むと、こんどはオオサンショウウオがあらわれて…。			
ほんとうの南極犬物語	綾野 まさる/作	ハート出版	913/7/
南極観測隊として、きびしい寒さの中で荷物をのせたソリをひいた十五頭の犬たち。悪天候のため、予定通りに船が進めず、犬たちだけが南極に取り残されてしまう。それでも人間を信じて、まちつづけた犬たちがいた。			
おばけ、さがさないでください	あんず ゆき/作	フレーベル館	913/7/1
「おたすけ屋」の店番をしていた助太。うまださんという男の人がやってくる、力をかしてほしいという。うまださんの家にやってくると、うまださんは馬のおばけになってしまった。おばけがきらいな助太は大ピンチ。			
無人島で、よりよい生活!	いしい ゆみ/作	岩崎書店	913/1/
テレビショッピングが大好きなお母さんが買ったのは、小さな島。お父さんと三人での無人島生活がはじまった。バナナの木に電話がついているので生活するには便利だけど、お父さんとお母さんはケンカしてしまい…。大きな台風もやってきて…。			
せかいのブタばんざい!	大海 赫/作	復刊ドットコム	913/お/
たくさんのブタをころしてたべてきた人間。ついに、ブタたちのいかりがばくはつした。巨大なブタゴンになってにんげんたちをつかまえはじめる。にんげんは、ブタにゆるしてもらえるのだろうか？			
カエルのメロン	鬼村 テコ/作	刈谷市	913/お/
ペットがほしいこなぎは、カエルを飼うことにした。名前はメロン。メロンはとてもかわいいけれど、メロンが食べるハエはきもちわるい。ハエのかわりにちくわをあげてみたけれど、メロンは食べてくれなくて…。			
レイナ	斉藤 栄美/作	ポプラ社	913/お/
転校してきたばかりのなほ。まわりの子たちのおしゃべりについていけなくてさびしい思いをしていたら、なほとそっくりの子があらわれた。その子はレイナという名前らしい。レイナといると、なほはとってもたのしくて…。			
はたらきもののナマケモノ	斉藤 洋/作	理論社	913/お/
ぼくのへやにナマケモノがやってきた。いつもとつぜんあらわれてびっくりしてしまうけど、いえのそうじや、おさらあらいをしてくれる。目に見えないほどはやくうごけるナマケモノ。どうしてそんなにすばやくなったの!?			
どろんこライオン	佐々木 マキ/作	理論社	913/お/
サーカスのライオンは、ほんとは火の輪くぐりがしたいのに、にがてなつなわたりをさせられていた。イヤになったライオンはサイとヘビといっしょにサーカスをにげだすことにした。団長たちが追いかけてきたけれど、女の子が助けてくれて…。			
クイールはもうどう犬になった	こわせ たまみ/文	ひさかたチャイルド	916/3/
もうどう犬のしごとは、目の見えない人をたすけて歩くこと。そのためには、くんれんをうけ、たくさんのきまりをおぼえなければいけない。子犬のクイールは、たくさんの人とのかかわりあいのなかで、もうどう犬へと成長していく。			
大きな木のような人	いせ ひでこ/作 ジヨルジュ・メテリエ/監修	講談社	E/お/
パリの植物園をおとすれた日本人の少女。植物学者のおじさんと出会い、ふたりの時間が流れはじめる。おじさんにひまわりの種をもらい大切に育てる少女。夏が終わるころ、少女は日本に帰ることに…。			
死(考える絵本)	谷川 俊太郎/文 かるべめぐみ/絵	大月書店	E/お/シリーズ
おじいちゃんが死んだ。おじいちゃんの冷たい手をさわっていたら、こわくなった。お葬式が終わって、おじいちゃんはいなくなった。でも、どこかにいるような気がする。死んでしまったおじいちゃんは、どこへ行ったのだろうか？			
ちいさな鳥の地球たび	藤原 幸一/写真・文	岩崎書店	E/お/
わたり鳥のキョクアジサイの「キーア」。大空を旅しながらキーアが見たものは、人間によって切り開かれた森や、ゴミの山だった。動物たちの生きられる場所が、どんどんせまくなっている。地球環境を考える写真絵本。			
富士山にのぼる	石川 直樹/著	教育画劇	E/お/
世界中の山をのぼってきた石川さんが、雪の富士山にのぼる。自然は美しく、きびしい。山にのぼる時の石川さんのリュックの中身も公開。写真絵本。			
ポタ山であそんだころ	石川 えりこ/さく・え	福音館書店	E/お/
昭和40年、山野炭鉱でガス爆発事故が起こり、237人の炭鉱夫が亡くなった。友だちのけいこちゃんのお父さんは炭鉱夫だった。事故のあと、けいこちゃんは引っ越してしまっただけで、けいこちゃんとの時間は忘れない。			

◆◆◆ 外国のお話 ◆◆◆

高学年向き

本のなまえ	書いたひと	出版社	請求記号
パパはバードマン	デイヴィッド・アーモンド／作	フレーベル館	933/ア/
鳥人間コンテストに出ることにしたパパ。鳥になれるように、虫を食べたり、巣作りをしてみたり…。ドリーンお婆さんは、パパは頭がおかしいと言うけれど、娘のリジーは、パパと一緒にコンテストに出ることにした。パパとリジーは飛べるのか！？			
わたしのねこメイベル	ジャクリーン・ウィルソン／作	小峰書店	933/ウ/
ヴェリティの大切なねこのメイベルは、年をとって死んでしまった。でも、メイベルとはなれたくないヴェリティ。メイベルとずっといっしょにいられる方法を思いつき、メイベルの死を家族にかくし、ひとりで動きはじめるヴェリティだったが…。			
シャイローがきた夏	フィリス・レイノルズ・ネイラー／著	あすなろ書房	933/ネ/
飼い主にいじめられ、おびえて逃げ出してきた犬と出会った少年マーティ。犬にシャイローという名前をつけ、絶対に守ってやると約束をした。飼い主でもない、大人でもないマーティが、シャイローのためにできることは？			
時をさまようタック	ナタリー・パビット／作	評論社	933/バ/
森の家にすむ少女ウィニーがゆうかいされた。犯人のタック一家には、不老不死という大きな秘密があった。年をとることができないという彼らの悲しみを知ったウィニーは、タック一家を守ることにしたけれど。			
雲じゃらしの時間	マロリー・ブラックマン／作	あすなろ書房	933/ブ/
友だちをうらぎり、きずつけてしまったデービー。自分の弱さと向き合うために、デービーは詩を書くことにした。友だちは遠くに行ってしまうと、デービーの心に生きつづけるものがある。			
クマと仙人	ジョン・ヨーマン／作	のら書店	933/エ/
失敗ばかりで森のなかまたちにばかにされていたクマ。かしこくになりたいと思ったクマは、森の仙人の生徒になって、授業を受けることにした。クマのおかげで、いつも授業はハチャメチャ。クタクタの仙人だけど、ふたりですごす時間は楽しかった！			
ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？	アレン・ネルソン／著	講談社	936/ネ/
黒人差別に苦しんでいたネルソンさんは、海兵隊に入ればヒーローになれると思った。しかし、戦地で待っていたのは、ひさんな命のうばい合いだった。戦地から戻り、ホームレスになったネルソンさんが考えたことは？			
ガイコツになりたかったぼく	ウルフ・スタルク／著	小峰書店	949/ス/
庭のほら穴の中に黄金があると行って、にいちゃんをぼくをからかう。にいちゃんをあっと言わせたくて、ぼくはほら穴の中で凍え死んでやろうと考えた。にいちゃんなんか、ガイコツになったぼくを見つけて恐怖と悲しみで泣けばいいと思っていたら…。			
ジュリエッタ荘の幽霊	ベアトリーチェ・ソリナス・ドンギ／作	小峰書店	973/リ/
第二次世界大戦末期、イタリアの田舎。国籍も宗教もちがうふたりの少女が出会ったのは、幽霊が出るとうわさになっていた「呪われた屋敷」だった。戦争におびえながらも、友情をはぐくんだ少女たち。			
エリカ奇跡のいのち	ルース・バンダー・ジー／文 ロベルト・インノチェンティ／絵	講談社	E/I/A17
ユダヤ人強制収容所へ向かう汽車の窓からほうりなげられたのは、毛布でくるまれた赤ちゃんだった。わが子に生きのびてほしいと願う母親の愛を胸に、赤ちゃんは大きくなる。			
生命の樹	ピーター・シス／文・絵	徳間書店	E/セ/
『種の起源』という本を書き、「進化論」を発表したチャールズ・ダーウィンの生涯をえがいた絵本。学校がきらいだった彼が興味をもったのは動植物や鉱物。やがて地質学調査のために航海にでて、博物学者になった。			
なぜカツらは大きくなったのか？	キャスリーン・クルル／文 ピーター・マローン／絵	あすなろ書房	E/ナ/
人間が毛むくじゃらだった時代からはじまり、カツラ、ハゲ治療、カラーリング、入れ毛、巻き毛など、髪型の歴史がわかる絵本。「髪は体の中で、唯一自由に換えられる部分」とあると、作者は言う。			
ナビル	ガブリエル・バンサン／作	BL出版	E/ナ/
話できいたピラミッドを、自分の目で見てみたいと思ったナビル。だが、まわりの大人たちは、ピラミッドの場所まではとても遠くて無理だと言う。それでもあきらめきれないナビルは、強い想いを胸に、ひとり、旅立った。			
百年の家	ロベルト・インノチェンティ／絵 J. パトリック・ルイス／作	講談社	E/ヒ/
石でできた古い家は、そこに暮らす人間たちを静かに見守り続けた。おだやかなときも、戦争のときも、住人が亡くなったときも。新しい時代がやってきて、古い家に住む人はだれもいなくなり、この家の旅も終わろうとしている。			
ヘレン・ケラーのかぎりない夢	ドリーン・ラバポート／文 マット・タヴァレス／絵	国土社	E/A/
高熱を出し、目が見えず、耳も聞こえなくなってしまったヘレン。自分の思いや考えをまわりの人にどうやって伝えたらよいかわからずに、苦しんでいた。サリバン先生がやってきて、ヘレンは指文字を覚え、まわりの世界との結びつきを深めてゆく。			

◇◇◇ 日本のお話 ◇◇◇

高学年向き

本の名前	書いた人	出版社	請求記号
坂の上の図書館	池田 ゆみる/作	さ・え・ら書房	913/1/
自分の気持ちを人に伝えることが苦手な春菜。引っ越してきた家の近所の図書館に通い、本を読む楽しさに目覚める。本をとおしでの出会いもあり、春菜の毎日はすこしずつ変わりはじめた。			
精霊の守り人	上橋 菜穂子/作	偕成社	913/ウ/1
新ゴ王国の皇子チャグムが川に流されたところを、偶然に救い出した女用心棒のバルサ。チャグムには魔物がやどっている可能性があり、実の父である帝に命をねらわれているという。チャグムを連れて逃げてくれと、妃に頼まれてしまうバルサだったが…。			
ちなつのハワイ	大島 真寿美/作	教育画劇	913/ホ/
家族四人でハワイにやってきたちなつ。でも、パパとママはケンカばかりで、兄は受験勉強。家族はバラバラ。そんな時、ちなつの前に、日本にいるはずのおばあちゃんがあらわれて。			
ただいま女優修業中!	上條 さなえ/作	汐文社	913/カ/
彩花の夢は、女優になること。ママを説得して、子役スクールに入るためのテストを受けられることになった。彩花のがんばる姿を見て、パパも応援してくれるようになって。夢をかなえるための、挑戦の日々がはじまる。			
ドロースェルマイアーの人形劇場	斉藤 洋/作	あかね書房	913/サ/
エルンストは高校の数学教師。街で目が合った老人が気になり話しかけると、老人は人形劇をしながら旅をしているという。そして人形劇に夢中になったエルンストは高校をやめ、老人について旅をすることにした。			
拝啓、お母さん	佐和 みずえ/作	フレーベル館	913/サ/
もうすぐ妹が生まれ、お姉さんになるゆな。お母さんが入院している間、遠くに住むじいじとばあばの家でくらすことになった。ひとりだけのけものにされた気がしておこっていたゆなだけれど、じいじの活版印刷所の仕事の手伝いが楽しくなってきて…。			
裁判とふしぎなねこ	手島 悠介/作	学研	913/テ/
社会科の授業で模擬裁判をすることになった斗夢。ある日、スピードを出してマウンテンバイクで走っていた斗夢は、おばさんにぶつかってしまう。怖くて逃げだしてしまったけれど、法律について学ぶうちに、自分の罪の大きさに気づき…。			
かくれ山の冒険	富安 陽子/著	PHP研究所	913/ト/
少年が迷い込んだ山は、時間の流れの外にある世界だった。化け猫に呪いをかけられた少女を助けるために、そして、自分の世界にもどるために、少年は知恵と勇気をふりしぼる。			
ワニ	梨木 香歩/文	理論社	913/ナ/
母ワニの目を盗んで、弟妹たちを食べてしまったワニ。仲間を食べるのはよくないことだとカメレオンに言われたが、「仲間」というものがなにを意味するのかわからないワニ。怒ったワニはカメレオンも食べてしまい…。			
太古の森へ	三輪 裕子/作	小峰書店	913/ミ/
クラスでシカトされ、親友にも裏切られた千沙。母と離婚して別々に暮らしていた父から、ニュージーランドの森のトレッキングツアーにさそわれた。父との二人旅を楽しみにしていたのに、なぜか、知らない男の子との三人旅になってしまい…。			
夏の迷宮	六条 仁真/著	国土社	913/ロ/
夏の山の中には、あの世とつながる場所がたくさんある。長いあいだ山で生きてきた祖父と暮らす少女は、ゆたかな自然を体いっぱいを感じながら、不思議な体験をする。			
ムンジャクンジュは毛虫じゃない	岡田 淳/著	偕成社	G913/ホ/
クロヤマの頂上にだけ咲くめずらしい花が、町の人たちから全部つみとられてしまった。すると、クロヤマに毛虫のような不思議な生き物があらわれて、町中のつみとれた花を探し出しては食べはじめる。この生き物の正体とは…!?			
黄いろのトマト	宮沢 賢治/作 降矢 なな/絵	三起商行	E/キ/
畑を耕し楽しくらしていた小さな兄と妹。畑のトマトは黄金の立派な実をつけた。ある日、サーカスがやってきて、みなが入り口で黄金の何かをわたして中に入って行くの見たふたりは、トマトを差し出せば自分たちもサーカスが見られると思ったのだが…。			
魔術	芥川 龍之介/作 宮本 順子/絵	偕成社	E/マ/
雨の降る晩、ひとりの男が、魔術師の住む西洋館にやって来た。魔術を見せてもらい感動した男は、自分でも使えるようになりたいとなった。魔術師には、欲のある人間には魔術は使えないと言われたのだが…。			
耳なし芳一	小泉 八雲/原作 船木 裕/文	小学館	E/ミ/幼少/二刷
盲人の芳一は琵琶の名手。名手であるがゆえに、平家の亡者に「平家物語を語り聞かせよ」と墓地の中に連れ出されてしまう。あやうく殺されかけていた芳一。逃げ切ることはできるのか?			